

いちのみやの芸術文化

- 特集「木曾川をめぐる人と文化」
- 加入団体の紹介
- 「一宮市芸術祭」のご案内
- これからの催し
- 文化講演会「椎名誠」

2010.9

第14号

一宮市芸術文化協会

木曾川の源流
(長野県木祖村 水木沢天然林)

一宮市には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館・木曾川資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

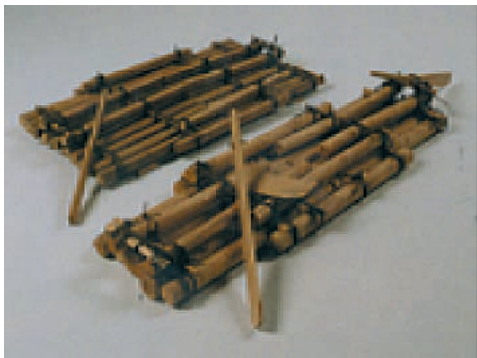
木曾川をめぐると文化

木曾川

木曾川は幹線流路延長229キロメートルで、日本で7番目、中部地方では最も長い河川です。流域面積は5,275平方キロメートルで、一宮市もその中に位置します。源流は長野県木祖村まで遡り、標高2,445メートルの鉢盛山から流れ出ています。豪雨時には濁流となって流れ出す木曾川も、その源流は水木沢天然林「表紙」の谷に見る美しい流れをしています。

木曾川は物流の拠点

木曾川の上流「木曾谷」は、島崎藤村が「木曾路はすべて山の中である」と『夜明け前』で述べているとおり、豊富な山林に



▲【写真1】筏模型（一宮市博物館蔵）
上：一宮市北方町新堤 脇田甚造氏製作
下：犬山市内田 木納清八氏製作

恵まれています。そのため、木曾の山々で伐り出された材木は八百津の錦織綱場で筏に組まれ、木曾川を利用して名古屋まで運ばれました。江戸時代には現在の北方町大日に川並奉行所が、筏はもちろん流木や船荷を調べることを仕事としていました。往時を

伝える川並奉行所の表札と材木の検印が現在でも残っています。私は23年前、北方町新堤の老人



▲【写真2】大船と筏と木曾川の石 写真提供：可児幸彦氏

と出会いました。明治31年生まれの筏乗り、脇田甚造さんです。迷惑を顧みず、何回も通ってお話を聞き、作っていただいたのが「写真1」の上にある筏模型です。手前があるのが、犬山の筏乗り木納清八さん（明治26年生まれ）に作っていた模型。無理を承知でお願いし、ずいぶん苦労されたと思うのですが、お二人ともお亡くなりになった今、もう二度と復元できない貴重な資料となりました。

もう一つ、木曾川の物流を担っていた重要な船が大船です「写真2」。昭和34年の伊勢湾台風後、姿を消しました。この大船は、木曾川の石を名古屋や知多半島へ運び、常滑焼や雑貨を積んで戻ってきました。手漕ぎだった頃は1ヶ月に2回出かけて行き、一往復2週間ほどかかったといえます。



▲【写真4】 常滑焼きの甕
(一宮市博物館蔵)



▲【写真5】 木曾川の玉石と石採り
写真提供: 可児幸彦氏



▲【写真3】
大船が石を運んだ知多市八幡の川
(写真奥が海)

で来ていたそうです。山加石材さんの隣家を見ると、木曾川の石が積まれており、100年の歴史を感じることが出来ます。「ウカイサン」と大船が呼ばれていたのは、餌飼をしていたころの鵜飼船を転用して荷船にしていたからです。一宮市域で使われているハンドガメと呼ばれる常滑焼の甕や土管などは、この大船によってもたらされました。また、大船には炊事道具が備え付けられてあり、出先でも旅館などには泊まらず、船で過ごしたそうです。

知多市八幡にある山加石材さんに伺ったところ、現在では風景がずいぶん変わってしまっただけで、確かに一宮市北方町から「ウカイサン」と呼んでいた船が石を積んだ



▲【写真8】 サツキマス漁(2010.5.31)
木曾川漁協 高木康夫さん

川に「鮎鮎」と書かれています。しかし、最近では、川でスズキやサツキマスを見るのが少なくなりました。

木曾川の漁業

今では川魚を食べる習慣がほとんどなくなりましたが、江戸時代に書かれた張州府志を見ると、葉栗郡の土産は木曾



▲【写真6】 石カギ
(一宮市博物館蔵)

大船によって運ばれた木曾川の石は、専門の人が石カギで採りました。石を採って積む船を石船と呼びました。



▲【写真7】 川並奉行所の表札と検印
(一宮市博物館蔵)

木曾川の祭りと芸能



▲【写真9】 黒岩川祭(一宮市浅井町)

▲【写真10】 ばしょう踊(一宮市北方町)



木曾川は生活の糧だけでなく、楽しみであったり、大船で潮干狩りに行ったり、祈りの場としても使われました。また、12ヶ月分と365日分の提灯を付けた山車を曳きまわす「黒岩川祭」、木曾川の河原で雨を祈る「ばしよう踊」など、江戸時代から連綿と続く伝統行事もあります。

川とともに生きてきた人々の歴史は、教訓も含め次世代の記憶から消えてしまつていくかもしれない。しかし、本来、自然とともに人が生きてきたことを伝えていきたいものです。(一宮市博物館 民俗担当学芸員 久保禎子)

※一宮市博物館では平成22年10月9日(土)〜11月21日(日)まで、秋季特別展「木曾川をめぐる人と文化」川とともに生きる」を開催します。この秋、木曾川にとつぱりとつかつてみませんか。

大正琴琴城流は、芸処と言われる尾張で産声を挙げ、来年で100年を迎えます。私達は、尾張の家元鈴木琴城の門下で、大正琴カトレヤ会として練習に励んでいます。

加藤信子先生の熱心な指導のもとで、毎月第1、第2、第3土曜日の午前中に尾西生涯学習センターで練習をしています。現在、邦楽、歌謡曲、ポピュラー音楽、演歌、童謡と幅広いジャンルの曲に取り組んでいます。とても楽しい雰囲気の中、時には、大正琴だけではなくキーボードも一緒に演奏しています。

毎年5月には、門下生数百名で発表会が盛大に開催されます。各教室の練習成果の発表と、門下生同士の交流も行われ、良い研鑽の機会となっております。今年はチャリティー発表会として開催されました。また、11月に開催される尾西芸能祭、尾西公民館文化祭にも出演する予定で、それに向け、一生懸命練習中です。

掲載させていただきました写真は、北今保育園のおひな祭りの会で、演奏している様子です。大正琴の演奏に合わせて、園児さんたちに歌を歌ってもらい、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。

皆さんも是非一度、私達と一緒に「心の豊かさ」を味わってみませんか。お気軽にお出掛け下さい。お待ちしております。



◀ おひな祭りの会

【問合せ先】野村 佐千子 ☎62-7798

一宮合唱協会は、合唱の普及と各文化団体との交流を図ることを目的としており、現在16の合唱団の会員約360名が所属しています。

主な活動には、秋に開催される一宮市芸術祭の参加事業である一宮合唱祭があります。今年で34回目となり、尾西市民会館で10月31日(日)に開催します。

過去の合唱祭では、観客の方と一緒に合唱をして、歌の良さに触れていただき、歌の輪に入っていたくようなことも行ってきました。今年も、観客の方に「とても感動した。」とだけいただけるような、すばらしい合唱祭にするため、会員一同、練習に励んでいます。

また、今年も一宮市芸術文化協会音楽部の事業の合唱講習会も開催されます。合唱はいろいろな声が重なり1つのハーモニーとなり、聞いている人の心はもちろん、自分の心も癒す歌になります。ぜひ参加し、合唱のすばらしさを体

験していただきたいと思います。

会員は皆さん、歌が好きな人達ばかりで、普段の練習でも、楽しい雰囲気の中、とても充実した時間を過ごしています。

歌が好きな方は、大歓迎です。一度やってみませんか。お待ちしております。



◀ 一宮合唱祭

【問合せ先】豊田 富子 ☎86-2713

加入団体の紹介

美省会 (びしょうかい)

(デザイン・工芸・彫塑部門)

美省会は、工芸を楽しんでいる会です。個性的で世界に一つしかないオリジナル作品を創作することを通して、もの作りの面白さや楽しさも味わうことができます。毎月第3日曜日に、講師の自宅に集まり活動していますが、6月からは、会員が増加したため、グループ別にして都合のよい日に活動しています。

美省会では、七宝焼きでペンダントやブローチ、額飾りなどを作っています。なかなか思うような色彩が表現されずに悩み、何回でも挑戦することもあります。納得できるものが焼きあがったときには、とても大きな感動を味わうことができます。

他にも、銀の粘土で手軽に作品を作っています。これもペンダントやブローチ、動物など、自分の好きなものを自由に作ります。窯で焼いたものを磨くと、とてもきれいな銀色に輝き、感動します。

また、手作りしたオリジナル作品には、手作りの温かさや優しさなどを味わうことができます。こうした「美」と「技法」を追求する創作活動は工芸の魅力と言えるでしょう。

これからも、生涯学習として仲間と楽しく、未永く学び続けていきたいと思えます。

興味のある方は、お気軽にご連絡ください。



◀ 楽しく銀粘土作品作り

【問合せ先】平松 清美 ☎090-4196-4906

加入団体の紹介

一宮漢詩濤聲會 (いちのみやかんしとうせいかい)

(詩部門)

昭和62年に豊島図書館で開催された漢詩講座の受講者が、引き続き自分達で講座を開催するために「濤聲會」が結成されました。漢詩講座の聴講が主な活動で、約22年間、愛知文教大学学長故坂田新先生に漢詩の講読をして頂きました。遺訓である「老来を嗟く莫れ、郷風故郷に揚げよ」は濤聲會会歌にもなっています。

4月からは、東洋文化振興会会長三島徹先生を講師に迎え、漢詩講座を開催しています。

聴講が中心の「濤聲會」の中で、作詩に関心のある者同士が、切磋琢磨し作詩を楽しむこと目的として、結成されたのが「一宮漢詩濤聲會」です。

「一宮漢詩濤聲會」では、自分の想いを日本語で書いた4行詩が仲間の添削で漢詩に作り上げられる中で、作法、漢文の素養を身につけることができます。

教室では常に「師の先に師なし常に自ら学ぶ

志が師である」を念頭に、習熟者も初心者も互いに学び合っています。習熟者は初心者の詩に、「詩心」の斬新さを学ぶことができ、その「詩心」を損なわずに漢詩に仕上げる演習の場になります。

初心者は、「詩心」をよりよく読者に伝えるための起承転結の配列の仕方、各句の句意に沿った漢語を「詩語表」の中から選ぶ選び方、漢文法に従った詩語の並べ方などを、習熟者の詩に学ぶことができます。



◀ 三島先生を囲んで

【問合せ先】森永 重代記 ☎78-7953

第
65
回

一宮市芸術祭

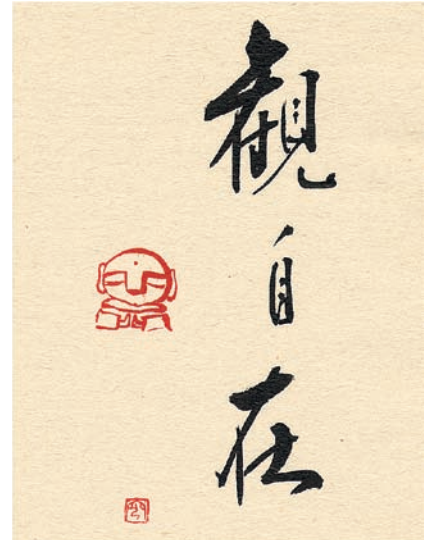
いよいよ天高く馬肥ゆる秋となりました。

あなたの秋は「芸術」？「読書」？「スポーツ」？それとも「食欲」でしょうか。

今年の「一宮市芸術祭」は次のとおり開催されます。あなたも目と心の保養にぜひお出かけください。

| 行事 | 期日 | 時間 | 開催場所 | 入場料 参加料等 | 団体 |
|-------------------------|-----------------------|--|------------------|--------------------------|----------------------|
| 2010 一宮美術作家協会展 | 8月28日(土) ～9月12日(日) | AM9:30～ PM5:00 | 一宮市博物館 | 一宮市博物館 常設展観覧料 200円 | 一宮美術作家協会 |
| 楽しく描こう会 水彩画展 | 9月7日(火) ～12日(日) | AM9:00～ PM5:00 (12日はPM4:00まで) | 尾西歴史民俗 資料館 | 入場無料 | 楽しく描こう会 |
| 三美会展 | | AM9:00～PM5:00 (7日はPM1:00～ 12日はPM4:00まで) | 三岸節子記念 美術館 | | グループ絵ごころ三美会 |
| 選抜写真展 | 9月16日(木) ～26日(日) | AM10:00～ PM5:00 | 一宮市博物館 | 一宮市博物館 常設展観覧料 200円 | 一宮写真協会 |
| アーティフィシャルフラワー 鶴の会作品展 | 9月17日(金) ～26日(日) | AM9:30～ PM5:00 (26日はPM4:00まで) | | | アーティフィシャルフラワー 鶴の会 |
| 第7回尾西展 | 9月17日(金) ～23日(祝) | AM9:00～ PM5:00 (23日はPM4:30まで) | 三岸節子記念 美術館 | 入場無料 | 尾西美術連合 |
| 押花作品展 | 9月17日(金) ～19日(日) | AM9:00～PM5:00 (17日はPM1:00～ 19日はPM4:00まで) | | | 花千会 |
| 第46回麗筆会展 | | AM10:00～ PM5:00 (19日はPM4:00まで) | 一宮スポーツ 文化センター | | 麗筆会 |
| 第8回 尾西作家協会展 | 9月28日(火) ～10月3日(日) | AM9:00～PM5:00 (28日はPM0:00～ 3日はPM4:00まで) | 三岸節子記念 美術館 | | 尾西作家協会 |
| 桃墨会展 | | | | | 桃墨会 |
| 第10回 山ぶどうの会展 | 9月30日(木) ～10月3日(日) | AM10:00～ PM5:00 (3日はPM4:00まで) | 一宮スポーツ 文化センター | | 山ぶどうの会 |
| 土筆の会展 | 10月1日(金) ～3日(日) | AM9:00～ PM5:00 | | 土筆の会 | |
| 市民茶会 | 10月3日(日) | AM10:00～ PM3:00 | 真清田神社 | 1,500円 | 一宮茶道協会 |
| 尾西短歌大会 | 10月9日(土) | PM1:30～ PM4:30 | 尾西生涯 学習センター | 1,000円 | 青の樹短歌会 尾西短歌会 |
| 狂俳大会 | | PM1:00～ PM4:00 | 葉栗公民館 | 入場無料 | 一宮狂俳壇連盟 |
| 尾西俳句大会 | 10月10日(日) | AM10:30～ PM4:30 | 尾西生涯 学習センター | 800円 | 尾西俳句会 |
| いちのみや文芸2010 発刊 | 10月16日(土) | 1冊 800円 随想・随筆、現代詩、漢詩、短歌、俳句、川柳、狂俳の市民文芸集 | | | |
| 文化講演会 | | PM1:00～ PM2:30 | 尾西市民会館 | 入場無料 | 講師：椎名 誠さん (作家) |

| 行事 | 期日 | 時間 | 開催場所 | 入場料 参加料等 | 団体 |
|-----------------------|-------------------------|---|------------------|------------------|--------------------------------------|
| 秋季謡曲大会 | 10月24日(日) | AM9:30~ PM4:30 | 産業体育館 | 入場無料 | 一宮謡曲同好会 |
| 第4回パレット 水彩画展 | 10月26日(火) ~31日(日) | AM9:00~ PM4:30 (31日はPM3:30まで) | 尾西歴史民俗 資料館 | | パレット会 |
| 一宮市民華道展 | 10月30日(土) ・31日(日) | AM10:00~ PM4:00 (31日はPM3:45まで) | 一宮スポーツ 文化センター | | 一宮華道連盟 |
| 第34回 一宮合唱祭 | 10月31日(日) | PM0:00~ PM4:30 | 尾西市民会館 | | 一宮合唱協会 |
| 一宮吟剣詩舞道大会 | 11月3日(祝) | AM9:30~ PM4:30 | 一宮スポーツ 文化センター | | 800円 |
| 俳句大会 | | AM11:00~ PM4:30 | | 一宮俳句協会 | |
| 第58回 合同舞踊公演 | 11月7日(日) | PM0:00~ PM3:30 | 一宮市民会館 | 1,000円 | 一宮舞踊協会 |
| 一宮現代詩祭 | | PM1:00~ PM4:00 | 一宮スポーツ 文化センター | | 500円 |
| 短歌大会 | 11月14日(日) | PM1:00~ PM4:30 | | 妙興寺 | |
| 一宮茶道連盟茶会 | | AM9:00~ PM3:00 | 一宮茶道連盟 | | |
| いぶき 水彩画展 | 11月16日(火) ~21日(日) | AM9:00~ PM3:30 | 尾西歴史民俗 資料館 | 入場無料 | いぶき |
| 第56回中部日本書道会 一宮支部展 | 11月20日(土) ・21日(日) | AM10:00~ PM4:00 (20日はPM1:00から) | 一宮スポーツ 文化センター | | (社)中部日本書道会 一宮支部 |
| 第39回 一宮支部学生書道展 | | PM0:00~ PM4:00 | 尾西市民会館 | | 尾西芸能祭実行委員会 |
| 尾西芸能祭 | | | | | AM10:00~ PM4:00 (お茶会はPM3:00まで) |
| 尾西華道展・お茶会 | 11月23日(祝) | AM11:00~ PM4:00 | 一宮スポーツ 文化センター | | 一宮三曲協会 |
| 三曲演奏会 | 11月24日(水) ~11月29日(月) | AM10:00~ PM5:00 (29日はPM4:00まで) | ギャラリー るぼ | 尾西ガリバンバンの会 | |
| ガリバンバン 水彩画展 | 11月28日(日) | PM2:00~ PM4:30 | 尾西市民会館 | 1,000円 | 一宮音楽家協会 |
| 第38回一宮音楽家協会 定期演奏会 | 11月30日(火) ~12月5日(日) | AM9:00~PM5:00 (11月30日PM1:00から、 12月5日PM4:30まで) | 三岸節子 記念美術館 | 入場無料 | 水絵の会 |
| 水絵の会展 | 12月5日(日) | PM1:30~ PM3:30 | 一宮市民会館 | 前売400円 当日500円 | 一宮市民吹奏楽団 |
| 一宮市民吹奏楽団 第35回定期演奏会 | | | | | |



「観自在」 則武 穹

《市および市内公共施設の催し》

一宮市博物館

〒463-215

特別展「木曾川をめぐる人と文化」

日時 10月9日(土)～11月21日(日)

午前9時30分～午後5時

(入館は午後4時30分まで、

10月11日を除く月曜、10

月12日(火休館)

内容

近世から近代にかけて、人々が木曾川をどのように利用し、暮らししてきたかを主に文献史料・民俗資料を用

いて紹介します。

観覧料 一般 400円

高大生 200円

小中生 100円

市内小中生・65歳以上無料

【特別展記念講演会】

日時 10月10日(日)

テーマ 木曾川をめぐる歴史と文化

【木曾川シンポジウム～自然編～】

日時 10月24日(日)

テーマ 木曾川の自然と文化

【木曾川シンポジウム～歴史編～】

日時 11月7日(日)

テーマ 木曾川の歴史と文化

【自然と歴史の観察会～自然編～】

日時 10月17日(日)

テーマ 木曾川を渡船で渡ろう！

【自然と歴史の観察会～歴史編～】

日時 11月14日(日)

テーマ 新発見！木曾川流域小旅行

※申し込みが必要な講座もありますので、詳しい情報（ホームページなど）をご覧ください。

企画展「2010一宮市現代作家美術秀選展」

日時 12月4日(土)～19日(日)

午前9時30分～午後5時

内容 一宮市美術展市長賞受賞者、

依頼出品者、一宮美術作家

協会、一宮書道協会、一宮写真

真協会推薦者の作品を展示。

観覧料 一般 200円

高大生 100円

小中生 50円

市内小中生・65歳以上無料

三岸節子記念美術館

〒632-892

特別展「三岸節子展 色彩のエス

プリ ―これが私の原点です―

日時 10月9日(土)～11月23日(祝)

午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで、

月曜休館、以下同じ)

内容 三岸節子芸術の原点に迫

た、いまなお新しさを感じさせる作品の数々を展示します。

観覧料 一般 600円

高大生 300円

小中生 150円

市内小中生・65歳以上無料

【美術館講演会】

日時 10月30日(土)午後2時～4時

内容 三岸節子前半期の画業にみる

近代フランス絵画の影響

講師：栗田秀法氏

(名古屋芸術大学准教授)

受講料 無料(申し込み不要・定

員100名)

【朗読美術館】舞台公演】

日時 10月16日(土)・11月3日(祝)

両日ともに午後1時30分～

(開場は30分前)

テーマ 「三岸節子の画業と人生」

～生きた、描いた、愛した～

内容 三岸節子の生涯を、作品画像とともに心に響く朗読とあわせ、市民参加のコーラスで構成した舞台で上演します。脚本：宮崎玲子氏

(美術エッセイスト) 出演者：朗読 たかべしげこ氏

(舞台女優) 他。

観覧料 一般1000円

高大500円

小中250円

(チケットは美術館受付で販売)

【美術館キャリアートーク】

日時 10月23日(土)、11月13日(土)

午後2時〜

内容 担当学芸員が「三岸節子展」

の見どころを解説します。

※特別展観覧券が必要

【愛知万博フレンドシップ継承事業

カンツォーネの夕べ】

日時 11月6日(土)午後5時30分〜

(開場は30分前)

内容 イタリアオペラやカンツ

オーネのコンサートを開催

します。出演者：二神二郎

(テノール歌手) 他

※要チケット(チケットは

美術館受付で販売)

【美術館こどもアートツアー】

日時 11月13日(土) 午後2時〜

内容 学芸員と一緒に楽しく展

覧会をみます。※参加料無料

対象 5歳〜中学生

常設展 「三岸節子 光と風景

〜ヨーロッパの輝く景色〜

日時 11月25日(火)〜1月30日(日)

(12月27日(月)〜4日(火)休館)

内容 独自の色彩で詩情豊かに描

いたヨーロッパの風景の秀

作を、旅路をたどるよう

にご紹介します。

観覧料 一般 320円

高大生 210円

小中生 110円

市内小中生・65歳以上無料

尾西歴史民俗資料館

☎(62)9711

特別展 「尾張の土人形

〜尾西・尾北〜

日時 10月9日(土)〜12月5日(日)

午前9時〜午後5時(入館

は午後4時30分まで、10月

11日を除く月曜日、10月12

日(火)、11月4日(木)、24日(木)

休館)

内容 かつて土人形の産地であっ

た旧尾西市から犬山市にか

けての尾西・尾北地方の土

人形を紹介します。

観覧料 無料

第10回もみじまつり

日時 11月13日(土)・14日(日)

午前10時〜午後4時

(お茶会は3時まで)

内容 旧林家住宅を会場にお茶会

や山野草展、箏の演奏など

を2日間にわたり催します。

入場料 無料(お茶会300円)

一宮市民会館

☎(71)2021

懐かしの歌声サロン2010

〜紅葉を感じて〜

日時 11月21日(日)午後1時30分〜

※開場は開演30分前

会場 一宮市民会館 大会議室

入場料 500円(全席自由・お茶付)

先着120名様・未就学

児入場不可

名作シネマ「手のひらの幸せ」と

ロビーコンサート(きそがわKID)

日時 12月12日(日)午後1時30分〜

※開場は開演30分前

入場料 前売500円

当日800円

※全席自由・5歳以下入場

ロビーコンサートは入場無料

一宮市尾西市市民会館

☎(62)8222

名作シネマ「春との旅」とロビー

コンサート

日時 10月30日(土)

午後1時〜(開場30分前)

入場料 前売500円

当日800円

※全席自由・未就学児入場不可

ロビーコンサートは入場無料

今井ゆうぞう はいだしょうこ

ファンタジー・コンサート

日時 12月23日(祝)

第1部 午後12時30分〜

第2部 午後3時30分〜

(開場30分前)

入場料 2800円(全席指定)

※2歳以上有料。但し、お

席が必要な場合は有料。

一宮市観光協会

☎(28)9131

一豊まつり

日時 9月19日(日)

午前10時〜午後5時

会場 ● 一宮市黒田小学校周辺

内容 ● 山内一豊誕生の地として、
甲冑に身を包んだ一豊公の
パレードが行われます。

びさいまつり

日時 ● 10月23日(土)～10月24日(日)
午前9時30時～午後4時

会場 ● 一宮市役所尾西庁舎周辺

内容 ● 十二単を着た織姫が、輦台
に担がれて登場する「織姫パ
レード」などが行われます。

第34回一宮菊花大会

日時 ● 10月31日(日)～11月7日(日)

会場 ● 国営木曽三川公園1388タ
ワパーク

内容 ● 菊の花の愛好家が丹精こめ
て作り上げた成果を一堂に
展示します。

《県文化協会連合会の催し》

『県文連美術展』

会期 ● 12月21日(火)～12月26日(日)

会場 ● 愛知県美術館ギャラリー

入場料 ● 5000円(前売4000円)

中学生以下無料

※生涯学習課で前売りしています。

『愛知県民茶会』

期日 ● 11月7日(日)

会場 ● 稲沢市民会館

席設 ● 一宮茶道連盟

茶券 ● 前売券8000円(2席)

当日券5000円(1席)

※生涯学習課で前売りしています。

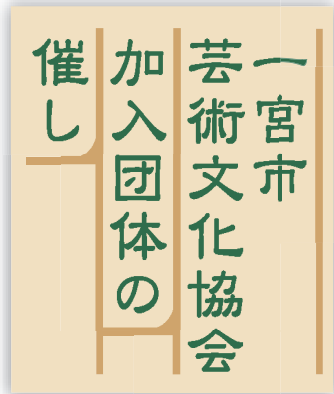
『県文連西尾張部芸能大会』

期日 ● 12月5日(日)

会場 ● 岩倉市総合体育文化センター

入場料 ● 無料

出演団体 ● 扇寿々会



『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(45) 8045

日時 ● 9月26日(日)・10月24日(日)・

11月28日(日)・12月26日(日)・

午後1時～

会場 ● 一宮スポーツ文化センター

内容 ● 自由吟および課題吟を一宮
川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 ● 無料

申込み ● 当日直接会場

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73) 5504

日時 ● 9月26日(日)・11月28日(日)・

12月19日(日)

午後1時～

会場 ● 一宮スポーツ文化センター

内容 ● 当季雑詠3句を一宮市民俳
句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 ● 無料

申込み ● 当日直接会場

『秋の市民俳句吟行会』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73) 5504

日時 ● 10月22日(金) 午前9時～

行先 ● 内藤記念くすり博物館

(岐阜県各務原市)

対象 ● どなたでも

参加料 ● 5000円

申込み ● 10月8日(金)までに事務局

へ連絡 ☎(84) 0013

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(62) 4654

日時 ● 9月12日(日)・10月10日(日)・

12月12日(日) 午後1時～

会場 ● 一宮スポーツ文化センター

内容 ● 真清短歌会委員により実作
指導します。(初心者歓迎)

参加料 ● 無料

申込み ● 当日直接会場

『秋の市民短歌吟行会』

【問合せ先 尾西短歌会】

☎(45) 9638

日時 ● 11月9日(火) 午前9時～

行先 ● 善水寺(滋賀県湖南市)

対象 ● どなたでも

参加料 ● 2000円

申込み ● 10月20日(水)までに事務局

へ連絡 ☎(84) 0013

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(45) 6702

日時 ● 11月13日(土)・12月11日(土)

午後1時～

会場 ● 葉栗公民館

内容 ● 各自10句持参、互選により
優秀作を記録に残します。

(初心者歓迎)
参加料▼無料

『第36回夏休み習字コンクール 入賞作品展・第23回硬筆秀選展』

【問合せ先 麗筆会】

☎ (62) 1841

日時▼9月17日(金)～19日(日)

午前10時～午後5時

(19日は午後4時まで)

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼入賞作品等を展示します。

入場料▼無料

『中国書道体験教室』

【問合せ先 日中古墨書道友好協会

尾張支部】

☎ (61) 2292

日時▼10月3日(日)・10日(日)・24日(日)

午後3時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼書の手ほどきから中国古典

臨書まで

参加料▼無料・用具準備無用

『馬場獅子屋形打囃子保存会 秋祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎ (84) 0013

日時▼10月24日(日) 午後1時～

会場▼熱田社(千秋町加納馬場)
内容▼道行打囃子を演奏しながら
獅子屋形を曳き回します。

『重吉甘酒祭保存会保存会 甘酒祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎ (84) 0013

日時▼10月24日(日) 午後2時～

会場▼八幡神社(丹陽町重吉)

内容▼神前に甘酒と強飯を供え、
お神楽を奉納します。甘酒
と強飯は参拝者に振るまわ
れます。

『加入団体の催し』欄に情報を 掲載しませんか？

このコーナーでは一宮市芸術文化協会加入団体のイベ
ント情報を募集します。

発行月3・6・9・12月の前月1日までに、必要事項を任
意の様式にて記入の上、事務局まで提出してください。

必要事項 ①行事名 ②団体名 ③問合せ先電話番号 ④日時 ⑤会場
⑥対象 ⑦参加料 ⑧申込方法 ⑨その他必要事項

提出先 〒493-8511 一宮市芸術文化協会事務局(住所不要)
または FAX 0586-86-1809

第68回 一宮市美術展 開催要項

【会期】 11月11日(木)～14日(日)

午前9時30分～午後5時

(最終日は4時30分)

【会場】 一宮スポーツ文化センター
(一宮市真清田1-2-30)

【種目】 日本画／洋画／彫刻／立体
／工芸／デザイン／書／写真

【主催】 一宮市・一宮市教育委員会

【作品搬入】 11月6日(土)・7日(日)

午前9時30分～午後5時

【出品料】 無料

【出品規定】 未発表作品1種目1点

中学校卒業以上の年齢の者で、
市内市外は問わない。

【規格】

【日本画】20号以上100号以内で

額入り。ヒートン及び吊ひも

(又は針金を取り付けておくこと。

又は針金を取り付けておくこと。

【洋画】20号以上150号以内で額

入り。版画は4号以上で額入り。

ヒートン及び吊ひも(又は針

金)を取り付けておくこと。

【彫刻・立体】制限なし(安定して

展示できる作品)。

【工芸】制限なし。壁面展示の作品
にはヒートン及び吊ひも(又は
針金)を取り付けておくこと。

【デザイン】A2サイズ以上でパネ
ル張り。小型はパネルに構成。

ポスターフレーム可。(ポスタ
ーイラスト・CG等表現自由)

ヒートン及び吊ひも(又は針金)

を取り付けておくこと。

【書】91cm×91cm(3尺×3尺)又

は176cm×48cm(5・8尺×

1・6尺)以下。縦横自由。枠

張り又は額装。

篆刻は二印以内で印影のみとし、

仕上がり寸法は縦39cm×30cmと

する。刻字は1㎡以内とする。

規定の用紙に必ず墨書による釈

文を添付すること。

【写真】全紙以上でパネル張り(木

製パネルに限る)。額不可。た

だし、組写真は半切以上2枚以

内。(作品裏面で固定すること)

【作品搬出】

11月14日(日) 午後5時～7時

(予備日)11月16日(火) 午前9時

30分～11時30分

【問い合わせ先】 一宮市教育委員

会生涯学習課 生涯学習・文化

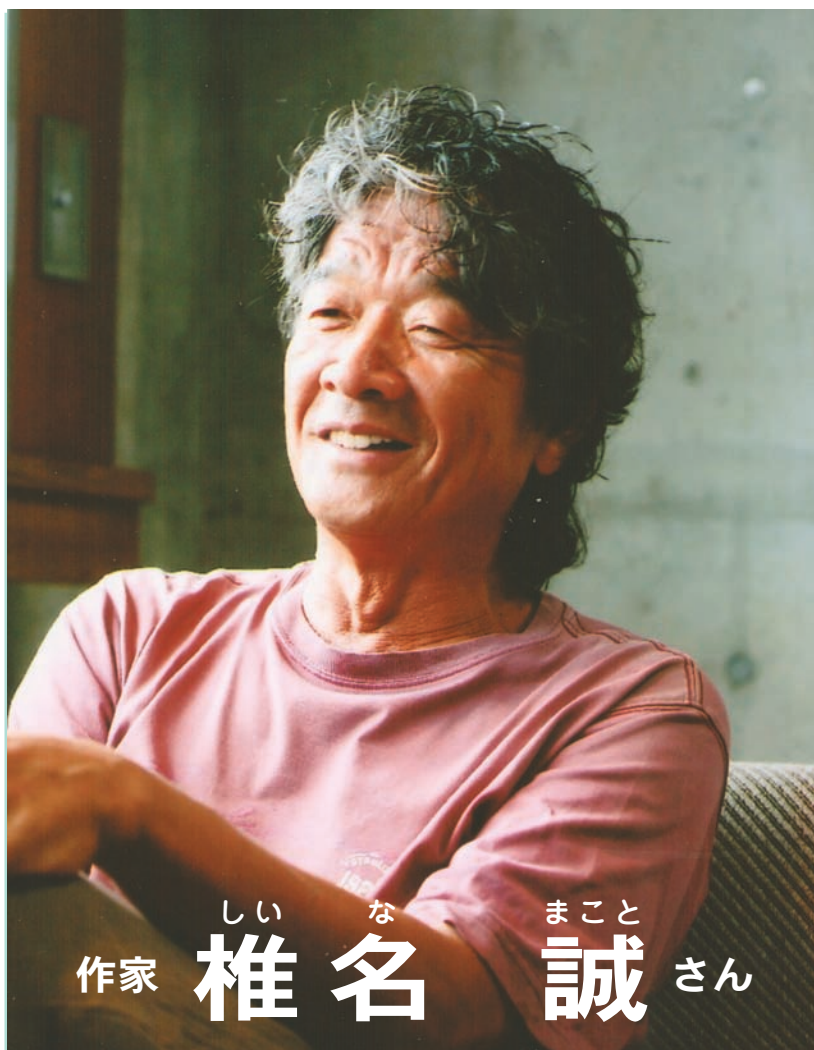
グループ

電話(0586)84-0013

平成22年度

文化講演会

『異文化としての日本』



作家 ^{しい} ^な ^{まこと} **椎名 誠** さん

10月16日 土

13:00~14:30
[開場は30分前]

一宮市尾西市民会館

会場アクセス: i-バス尾西北コース22番または、尾西南コース26番「尾西庁舎」下車徒歩1分 / JR尾張一宮駅・名鉄一宮駅下車名鉄バスターミナル2番のりばより「起」「蓮池」「西中野」行きで約10分「尾西庁舎前」下車徒歩2分

※駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

入場無料

※手話通訳があります。

整理券: 入場無料ですが、整理券が必要です。(満席の場合は、入場をお断りすることがあります。)

整理券は9月7日(火)より一宮庁舎東玄関受付、尾西生涯学習センター(尾西庁舎)、尾西南部生涯学習センター、木曾川庁舎生涯学習課、各出張所、各図書館、一宮・尾西市民会館、一宮スポーツ文化センターで配布します。

その他: 当日、ロビーにて「いちのみや文芸2010」(1冊800円)を販売します。

問合わせ: 一宮市芸術文化協会事務局 (市生涯学習課内)

電話 0586-84-0013(直通)

主催 / 一宮市教育委員会・一宮市芸術文化協会

[題字] 武山翠屋
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局 (市教育委員会生涯学習課内)
〒493-8511 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り27番地
TEL 0586-84-0013 / FAX 0586-86-1809